

たとえ一つの技術でも、集結すれば空も飛べる

吉光工業は、人工衛星を打ち上げるためのロケットや、航空機に使用される部品の加工を手掛ける会社です。100%受注生産のため全てが特注品。多くても数百個から最小で一個を作る多品種少量生産を得意とし、高精度・高品質・高付加価値なモノづくりをしています。社員78名のうちなんと34名が職業技術校の修了生！「私はこの先生に教えてもらったよ」と共通の話題もあり、学ぶ環境が同じだったからこそ分らない事も安心して相談できます。私たちが造り出す製品が目に留まる機会はありませんが、確かな絆が日本の最先端技術を支える一翼を担っているのです。



実は私も修了生です！



取締役社長 坂本 一明 さん

株式会社 吉光工業

本社・川崎工場
〒215-0033 川崎市麻生区栗木 2-2-17
相模原工場
〒252-0132 相模原市緑区橋本台 3-4-30
URL: <https://www.yoshimitsu-inc.jp>



本社社屋



私たち全員、職業技術校の修了生です！



なかむら
中村 むつみさん (30歳) 相模原工場在籍
平成 26 年 3 月修了
2級機械加工技能士(普通旋盤作業) 2級機械検査技能士
出身校：横浜市立霧が丘中学校 (現市立義務教育学校霧が丘学園中部)
神奈川県立市ヶ尾高等学校



(精密加工エンジニアコース)

機械加工

みらいの姿が見える場所

高校卒業後、医療の専門学校に進学しましたが、その仕事をする自分の姿が想像できず退学、近所のカー用品店でアルバイトをはじめました。初めは車に興味はなかったものの、部品や構造に関する知識が増えるにつれ、漠然とパーツを創り出す仕事に興味を持ち、かなテクで技術を身につけたいと思ったんです。

NC 旋盤やマシニングセンターといった工作機械の操作や、やすりで平面を出す手仕上げ加工を学び、「こうやってパーツは作られていたのか!」とモノづくりの魅力にのめり込んでいきました。

「オー」という切削音や、機械油の香り。将来働く姿のイメージも湧き、勉強のモチベーションも上がりましたね。

私の担当はボール盤を操作する穴あけ加工。開けたら最後、元には戻せないのので、加工前はいつもドキドキ！図面に書かれていないノウハウやコツが潜んでいるからこそ、技術と経験がモノ言う仕事です。

みんなの暮らしを支える様々な専門技術。そのためのスキルを身につけられるのが「かなテクカレッジ東部」です。

今回は吉光工業で働く修了生にお話を聞き、かなテクでの学びがどのように仕事で役立っているのか伺いました！